

会 議 録

会議の名称	第2回さきたま古墳公園における子どもの遊び場事業構想検討委員会	
開催日時	令和8年3月23日（月） 開会：10時00分 ・ 閉会：11時00分	
開催場所	行田市役所305AB会議室	
出席者（委員）氏名	片口桂、澤田正樹、今井隆、萩原実、長岡幸雄、高島茂夫、青木恵美、須永裕香、安倍拓哉、西川晃充、上野香葉子、入口早栄子、樽見由照、小巻政史、野中オブザーバー（代理：柳澤）、高橋オブザーバー、長島オブザーバー	
欠席者（委員）氏名		
事務局	（健康福祉部長）熊谷、 （参事兼総合政策部企画政策課長事務取扱）川上、 （参事）安田、 （健康福祉部子ども未来課長）吉田、 （総合政策部秘書課主幹）代、 （健康福祉部子ども未来課主査）長島、 （健康福祉部子ども未来課主事）青木、 （総合政策部秘書課主任）滝田 （株式会社オリエンタルコンサルタンツ）青木、橋本、志村	
会議内容	1 開会 2 議事 （1）前回の振り返り （2）民間事業者への意向調査結果に関する報告 （3）「子どもの遊び場」の整備事業基本構想（修正案） （4）今後の進め方 （5）その他 3 閉会	
会議資料	（資料名・概要等） 第2回事業構想検討委員会次第 第2回事業構想検討委員会説明資料 第1回事業構想検討委員会意見対応表 さきたま古墳公園における「子どもの遊び場」の整備事業基本構想（案）	
その他必要事項		
会議の確定録	確定年月日	主宰者氏名
	令和8年4月15日	片口桂

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	1 開会 2 議事【議事進行 片口委員長】
事務局	【事務局より議題（1）前回の振り返りの説明】
事務局	【事務局より議題（2）民間事業者への意向調査結果に関する報告の説明】
萩原委員	民間事業者への意向調査の中で、参画意欲についてはほとんどの事業者が「とてもある」「ある」という回答であるが、残り1割の回答はどのような内容であったか。
事務局	本事業に対する関心はあるが、事業者として参画するには調査が不十分であるため、現時点で参画の可能性を判断できないという回答であった。事業に対する否定的な意見は見られなかった。
樽見委員	商圈等について、「商圈20km程度」や「休日に車で1時間以内等」という意見が見られているが、その意見を受けての市としての考えを伺いたい。
事務局	民間事業者のこれまでの経験則を踏まえたおおよその基準値として回答されたものであるため、この結果を踏まえて今後市としての考えを整理する。
事務局	【事務局より議題（3）「子どもの遊び場」の整備事業基本構想（修正案）の説明】
澤田副委員長	本事業の利用者ターゲットについて、市民は日常的な利用、市外利用者は行田市の特徴を感じてもらいながら、非日常を過ごしてもらうことを目指す方向性となっている。
澤田副委員長	ゾーニングの考え方、方向性はおおむね賛成である。具体的な機能や施設の配置については、年間を通じて賑わいが創出できるような工夫を民間事業者との対話を重ねながら検討を進める。
樽見委員	深谷市でプレオープンした「こどもふっかパーク」を視察したが、デジタル技術を活用した遊び場が多く導入されており、子どもたちの注目度も非常に高いように感じられた。デジタル技術を活用した遊具の導入も検討してほしい。
事務局	遊具の詳細については、今後の基本計画の策定の中で導入を検討する。
樽見委員	駐車場については既存施設があるが、本事業で整備する駐車場の規模はどのように考えるか。「こどもふっかパーク」におい

	<p>ては、文化ホールや生涯学習センター、子どもの遊び場施設が併設されており、文化ホールの駐車場は400台程度あるが、遊び場のオープンに伴い不足すると考えられる。深谷市の人口と比較すると行田市は半数程度のため、既存の約300台程度規模の駐車場でも十分と考えることもできるが、施設が整備されることで駐車場は不足する可能性がある。施設のオープン後、駐車場が不足して利用できない状況になってしまうと、施設の評判にも影響する。SNS等での情報の拡散等も踏まえて計画を検討すべきである。</p>
事務局	<p>駐車場の規模については、今後、基本計画の中で検討する導入機能や施設規模を踏まえて検討する。検討の際は、施設の評判への影響等にも留意する。</p>
事務局	<p>【事務局より議題（4）今後の進め方の説明】</p> <p>3 閉会</p>